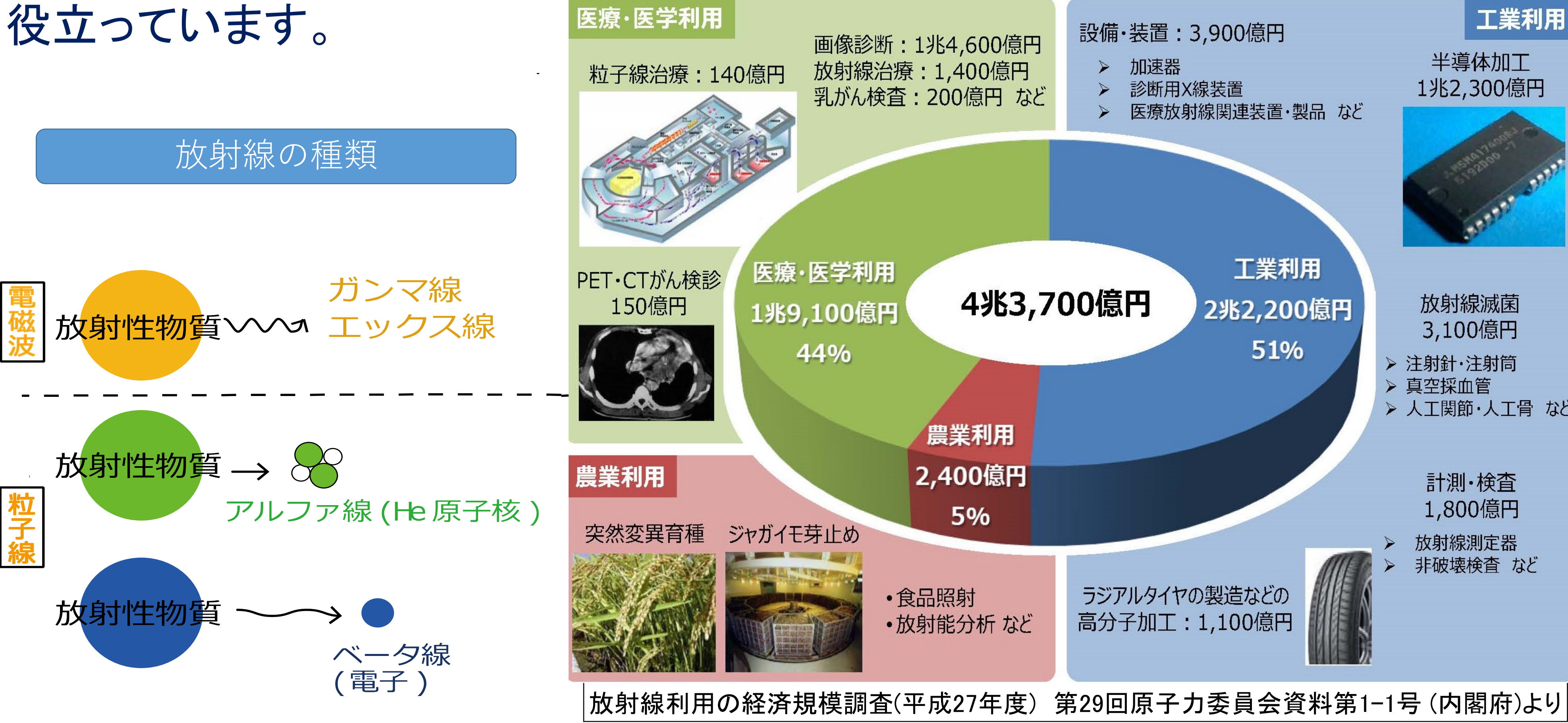


## 放射線の利用

原子や原子核から放出される電磁波または粒子線は、放射線と呼ばれます。電磁波にはガンマ線(γ線)・エックス線(X線)、粒子線にはアルファ線(α線)・ベータ線(β線)などがあります。放射線は、医療診断や治療、非破壊検査※1、医療器具の滅菌など、多種多様に利用され、我々の生活に役立っています。



※1 非破壊検査: X線などを利用して建物や機械の目に見えない内部の傷を対象物を破壊することなく検出できる。

※2 放射性同位元素(RI): 不安定な同位元素が自発的に放射線を放出し、他の安定した元素に変わる。

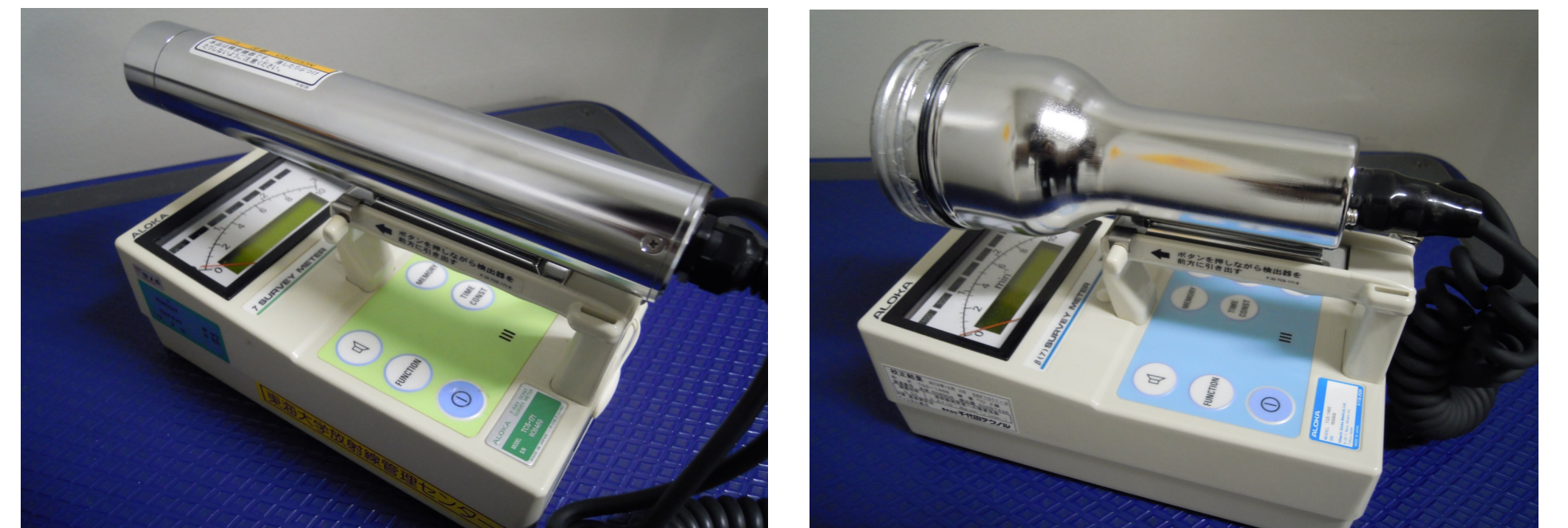
## 当センターの役割

湘南放射線管理センターは放射性同位元素(RI)※2を用いる研究・教育を全面的にサポートします。法令に則って安全にRIを管理し、RI取扱に関する正しい知識と技術の教育・普及にも取り組みます。その他に次の業務も行っています。

- ① RI共同利用施設の実験室・測定装置の貸出
- ② γ線やβ線の検出器(サーベイメータ)の貸出
- ③ 個人被ばくポケット線量計の貸出
- ④ 被ばく記録の保存と発行
- ⑤ RI利用の相談



個人被ばくポケット線量計



γ線用(左)・β線用(右)のサーベイメータ

## RI共同利用施設

RIを使った研究・実験を行うために共同で利用する施設を下図(赤枠内)に示します。

★ の測定室には多種多様な放射線測定装置があります。各装置の特徴は次のポスターを参照。

